

# アイヌ民族で初の国会議員

79 歳

## 菅野茂さん死去

06.5.7 東京



アイヌ民族として初の国会議員となり、アイヌ

文化の伝承活動で知られる元民主党参院議員の菅野茂（かやの・しげる）氏が六日午後一時三十分、急性肺炎のため札幌市東区の病院で死去した。七十九歳。北海道出身。自宅は北海道平取町

二風谷（にぶたに）七十九の一。葬儀・告別式は十日午前十時から平取町本町八八の一、平取町中央公民館で。喪主は妻れい子（れいこ）さん。二風谷に生まれ、二風谷尋常小学校を卒業。造

林、測量などの仕事を経て、一九五二年からアイヌ民具の収集を始めた。言語学者、金田一京助氏の影響で六〇年からアイヌ語の記録に着手。地元二風谷にアイヌ文化資料館などを開設した。七五年、アイヌの民話をまとめた著作「ウエペケレ集大成」で菊池寛賞、八九年吉川英治文化賞を受賞した。アイヌ語のラジオ講座講師などを

務め、日本政府の同化政策で語り手の減ったアイヌ語の再生に貢献。アイヌ語辞典を編さん、刊行した。

一方、二風谷を流れる沙流川でのダム建設に異議を唱え、土地強制収用裁決の取り消しを求める訴訟を起こし、九七年三月札幌地裁はアイヌ民族の「先住性」を初めて認める判決を言い渡した。九二年の参院選には社

会党の比例代表候補として出馬。次点となったが、九四年八月、松本英一氏の死去に伴い繰り上げ当選した。九六年十月、社民党を離党し、民主党に入ったが、九八年七月に一期で引退した。アイヌ民族の先住性を訴え、民族文化の尊重などを定めた「アイヌ文化法」の成立に貢献した。